



日本共産党台東区議会議員団

橋 詰 高 志

新型インフルエンザ対策について

**問** ①区民の不安を解消するため、正確な情報を伝えるべきではないか。②台東病院では、ワクチンの入荷が未定で接種の予約を受け付けていない。また、未就学児の接種は行わないと聞く。改善すべきではないか。③他区の医療機関で接種した場合、補助が受けられない。また、既往症のある方はかかりつけ医の証明を保健所に出す必要がある。速やかに接種できるよう改善が必要ではないか。**答** ①個別の相談で対応するなど、可能な限り情報提供に努めます。②ワクチンが追加配布され次第、予約を受け付けます。乳幼児の接種については、小児科専門医がいないため、リスクを考慮し控えています。③他区での接種は、各区が独自の方法で実施しているため相互調整が困難です。また、証明書は、非課税世帯に全額助成する関係で、税情報の確認のために必要です。来所が困難な方には郵送等で柔軟に対応しています。

台東病院の運営について

**問** ①病院の姿勢などが原因で外来患者が伸び悩んでいる。区民や区内医療機関との信頼回復に取り組むべきではないか。②老人保健施設の入所が停滞している。個室料を減額するなど、区民が利用しやすくするべきではないか。③看護師の安定的な確保のため、福利厚生面での対策を講ずるべきではないか。④公衆衛生の拠点として、区の健診に積極的に取り組むべきではないか。⑤台東病院は、事実上、東京都が再開の約束を守らず廃院になったのだから、都が運営費補助を行うのは当然と考えるが、どうか。⑥外部から容易に台東病院とわかるよう、名称の看板を早急に設置すべきではないか。**答** ①診療体制の改善や接遇の向上に取り組みしました。現在、地域連携相談室を中心に、地域の医療機関等との積極的な連携に取り組んでいます。②現時点では個室料の見直しは考えていません。療養床の利用状況等を広く周知して利用促進を図ります。③職員の確保は指定管理者の責任で行っていますが、区としても協力していきます。④各種健診やワクチン接種などを、保健所等と連携して実施しており、今後も、区民の健康保持のため取り組んでいきます。⑤東京都から「在宅医療拠点病院モデル事業」として指定され、事業補助を受けることになりました。運営費に対する直接の補助については、引き続き要請していきます。⑥今後、利用者に分かりやすい場所を選定し、設置していきます。



いぶきの会

東 久 仁 子

台東病院における  
取り組むべき課題の解決は

**問** ①台東病院の地域連携相談室は、在宅生活の困難な方に対して、まずは入院・入所で対応し、本人や家族が納得する施設等へ引き継ぐべきと考えるが、どうか。また、老人保健施設の対応を伺う。②医療連携の強化や地域連携バスの構築等について伺う。③状況により個室料を減免してはどうか。また、区民が利用しやすくするために取り組むべき課題は何か。**答** ①利用者の事情に応じた調整や引継ぎに当たっています。また、老人保健施設では、状況に応じて入所期間を延長するなど、柔軟な対応をしています。②

「台東区医療連携推進会議」において、地域で一貫したサービスを提供するシステムの構築に取り組んでおり、地域完結型医療の充実に向けた取り組みを実施します。地域連携バスは、作成に向けた土台づくりに取り組めます。③個室料の見直しは現時点では考えていません。積極的に利用者の意見を伺うとともに、運営協議会において、運営の透明性や説明責任を確保します。

中核病院としての永寿総合病院の役割と責任を

**問** ①永寿総合病院に、中核病院としての役割と責任を果たしてもらうよう、区として積極的に求めていくべきと考えるが、どうか。②中核病院として、今後どのように活用していくのか。**答** ①区では、病院の運営に対して評価・検証を行い、結果を提言しています。今後も一層の充実、医療連携の強化等を求めていきます。②新型インフルエンザの封じ込め期では、中心的な役割を担いました。また、区民のデータ分析において、情報提供を求めるとともに、働きかけていきます。



台東区議会自由民主党

石 川 義 弘

大規模災害について

**問** ①医療資材等について、最小限の備蓄で最大限の効果を上げられるよう、災害時における医療救護体制の見直しを早急に進める必要があると考えるが、現在の進捗状況を伺う。②台東病院を災害時に活用するために、負傷者を運ぶための連絡路の確保が大切であると考えているが、付近には緊急道路障害物除去路線が見当たらない。早急に対応すべきと考えるが、どうか。**答** ①緊急医薬品などの医療資材を備蓄するとともに、医療救護体制を構築するため、区内の医療関係者と課題の整理や、対応策の検討を行っています。医療関係者の横断的な連携という視点も含めて、課題の整理を一層進め、早急に災害時の医療体制についてさらなる強化を進めていきます。②現在、災害時の医療救護体制の課題を整理していますので、その

結果を踏まえ、路線の指定について検討していきます。

観光について

**問** ①国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向け、J R上野駅公園口付近の環境と景観の整備を進めてもらいたい。解決に向けた区長の決意を伺う。②観光資源が多数点在しているが、観光連盟がないために支援を受けられない地域がある。こうした地域をどのように支援していくのか。③吾妻橋と駒形橋間の堤防の内側にある管理用通路を遊歩道として整備すべきと考えるが、どうか。**答** ①国、都、J Rと連携を図り、課題を着実に解決し、世界遺産登録の実現に最大限の努力をします。②現在策定中の新観光ビジョンにおいて、新たな観光資源データベースの構築や、観光コースの開発などを検討しています。今後も、一層の観光資源の掘り起こしと発信に努め、総合的な観光振興を進めていきます。③吾妻橋下流の親水テラス整備とあわせ、東京都が総合的に検討しています。遊歩道に面することとなる住宅への影響などが考えられますが、引き続き、親水テラスの整備状況をみながら、東京都に確認をしていきます。



台東区議会区民クラブ

伊 藤 萬 太 郎

新年度予算編成について

**問** 今般の政権交代により、国の様々な施策の創設や改廃が予想されている。区長は、国政に関する情報収集や分析を行うための「新政策対応本部会議」を新設すると表明したが、その構成員や作業内容等について伺う。**答** 「新政策対応本部会議」は、区長、副区長、教育長などで構成しています。まず、各部から最新情報を報告させ、集約しました。その上で、区に影響があると思われる主要な政策を抽出し、現時点で想定される区への影響について、全庁的に情報の共有を図ったところです。**問** 新たな政権の下で、国の予算編成は大幅な変化が予想される。こうした変化は、区の予算編成にどのような影響を与えると想定しているのか。**答** 国において検討されている子ども手当の創設や、揮発油税の暫定税率の廃止などは、区の予算に影響するものと考えています。また、国の予算編成スケジュールに遅れが生じた場合なども、区の予算編成に影響が出てくる可能性があります。「新政策対応本部会議」を中心に、情報収集に努め、施策の変更などが新年度予算に反映できるよう、迅速かつ柔軟に対応していきます。**問** 事業の必要性、実施主体等を議論する「事業仕分け」は、既に50を超える自治体で実施されている。そこで、「事業仕分け」についての認識と導入について伺う。

**答** 国の「事業仕分け」は、行政が実施している事業の必要性、実施主体等について、公開の場で外部の視点を入れて議論し、決定していくものです。予算要求の内容を目に見える形とし、事業評価の公開性・客観性の向上を図る一つの試みとして、関心と呼んでおり、注目をしています。しかしながら、短時間の議論で結論を出すことについて懸念の声があること、仕分け人の選定基準の明確化などの点については、課題があると認識しています。区では、「外部評価委員会」による評価を実施し、外部からの視点を取り入れた区政を推進しています。これからも厳しい財政状況が予想される中、将来を見据えた施策を展開し、一層の行政経営の向上を図るため、「事業仕分け」の手法についても、検討していきます。

カラオケ文化について

**問** カラオケは、日本が発明した世界に誇る技術であり、文化である。平成2年には、文化庁によりカラオケが文化として認められた。カラオケは、健康、生きがいという点のほか、介護予防やリハビリにも効果が実証されており、医療費などの社会保障費の削減や、福祉、文化などの産業としての経済効果にも寄与すると考える。そこで、カラオケを広く文化として認め、施策事業の各分野において積極的に活用すべきと考えるが、活用事例と今後の予定について伺う。**答** カラオケは、我が国で生まれ、今や世界中に普及し、定着している文化の一つと認識しています。これまでも生涯学習や社会教育活動、介護予防、高齢者福祉などで幅広く活用し、心とからだの健康づくりを推進してきました。今後も、カラオケの効果を利用し、どのような分野で活用できるかを、研究していきます。